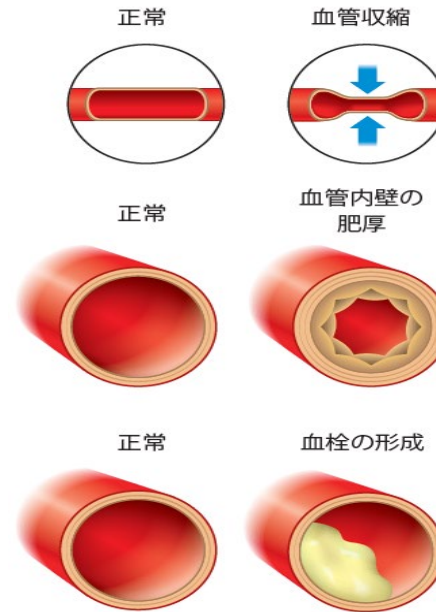
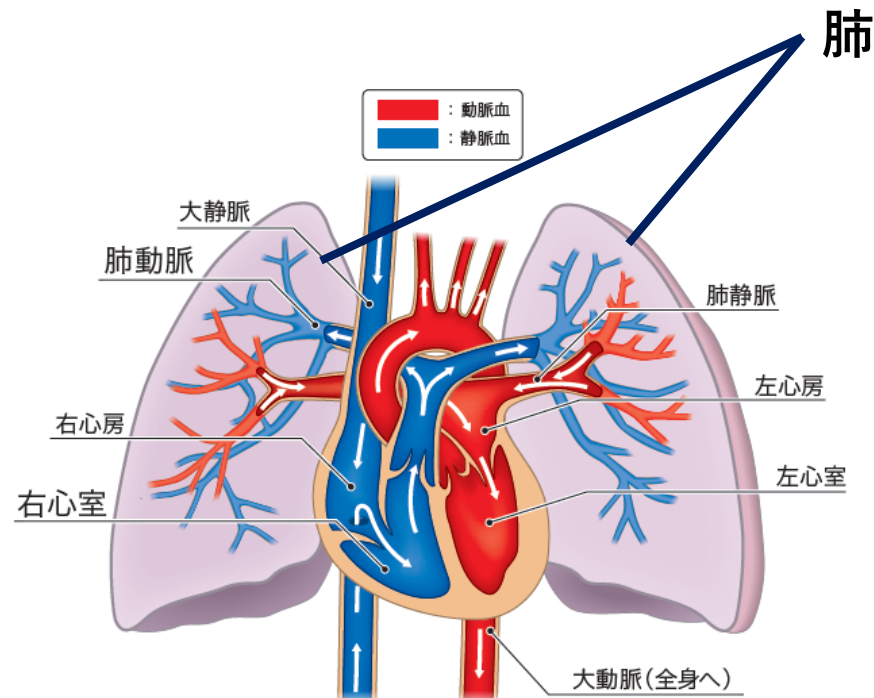


肺高血圧症とは？

肺高血圧症は、心臓から肺に血液を送り出す血管（肺動脈：肺の中の青い血管）の血圧（肺動脈圧）が高くなる病気です。肺動脈が収縮（縮こまること）したり壁が厚くなったり血栓が付着することで、血管が狭くなり中の肺動脈圧が上昇していきます。肺動脈圧が高くなるとその中を血液が流れにくくなるので、肺への血液の流れが悪くなり、肺から血液に取り込まれる酸素の量が減ります。そのため、軽い動作でも息切れや呼吸困難といった症状が現れます。

また、肺への血液の流れが悪くなると、肺に血液を送り出す心臓（右心室）に負担がかかり続けるため（心臓はよりがんばって肺に血液を送るようになります）、次第に右心室の働きが悪くなってしまいます（心臓が疲れてしまう）。これを右心不全といい、肺高血圧症が進行した状態です。



PAH（肺動脈性肺高血圧症）の主な症状は、労作時呼吸困難（動作時の息切れ）です。その他に、胸痛、疲労感や倦怠感（体がだるい）、失神、動悸（心臓がドキドキする）、足のむくみなどがあります。PAHは病気の進行とともに症状があらわれます。最初は症状がない、または非常に軽いものですが、病気が進行すると軽い運動でも息苦しさや疲れやすさがあらわれ、さらに進行すると、安静にしているでも呼吸困難などの症状があらわれます。軽い動作でも息が切れるようになった、同年代の人と比べて息が切れやすいなどの症状がある方は、医師に相談してみてください。

息切れありませんか？

✓以前よりも歩けなくなった....

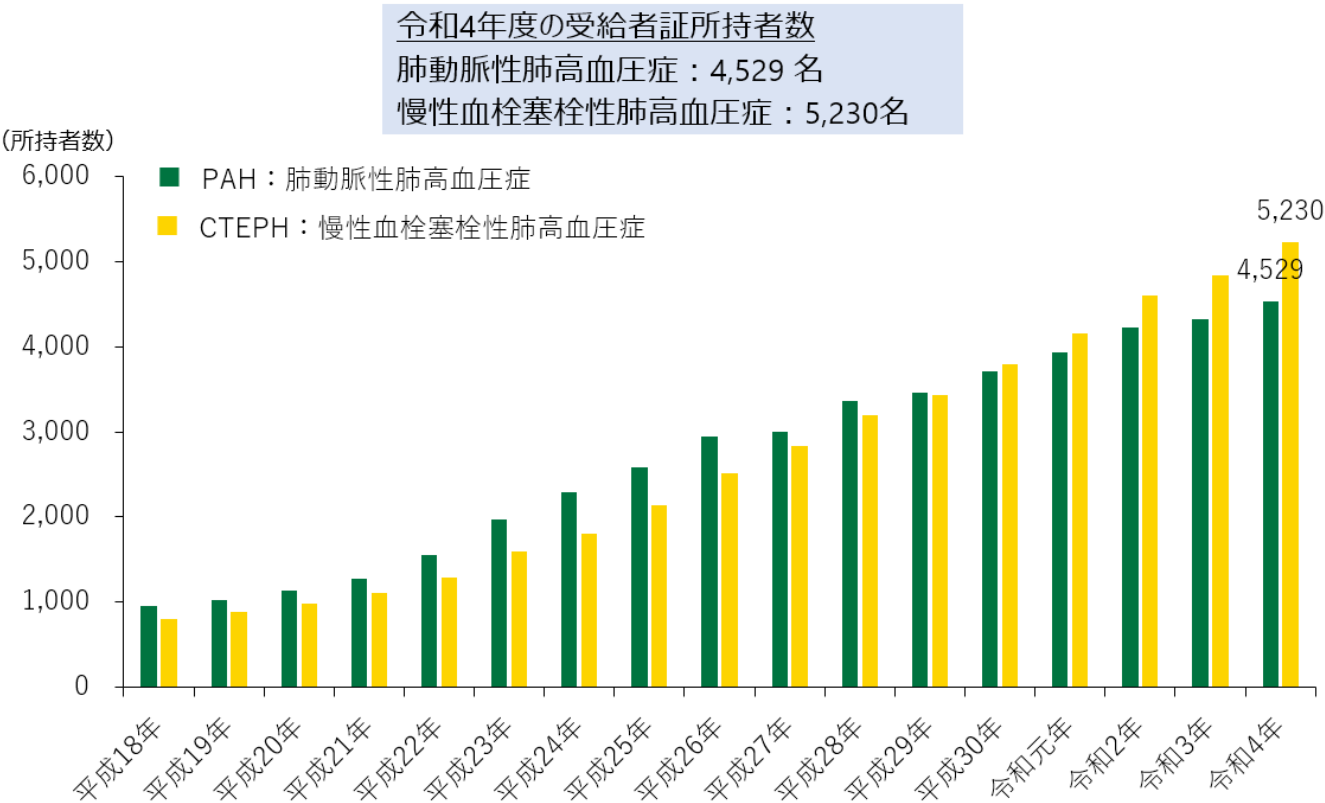
✓階段登れなくなった....

✓みんなと同じ速さで歩けない.....



PAH（肺動脈性肺高血圧症）は希少疾患と呼ばれ、患者さんの数がきわめて少ない病気の1つであり、国から難病に指定されています。しかしながら、患者さんは年々増加しており、2022年度（令和4年度）には肺動脈性肺高血圧症は4,529名、慢性血栓塞栓性肺高血圧症は5,230名でした。

特定医療費（指定難病）受給者証 所持者数の推移



※平成22年度は東日本大震災の影響により、宮城県及び福島県が含まれていない。
難病情報センター ホームページ 2024年2月現在からの作図

症状チェックリスト

- ☐ 階段をあがると息切れがする
- ☐ 失神、失神しそうになった
- ☐ 疲れやすい
- ☐ 動悸がする
- ☐ 胸のくるしさを感じる
- ☐ 足がむくむ
(すねを指で押して跡がのこるか)

監修医作図

患者様向けコメント

PAH（肺動脈性肺高血圧症）は原因不明の進行性の病気ですが、さまざまな治療薬や治療法があります。PAHは早期に発見して、すみやかに治療を開始することが重要です。そのためにも、動作時の息切れをはじめ、胸痛や疲労感、体のだるさ、失神など気になる症状が出る頻度が多くなったりした場合は、早めに医師に相談しましょう。また、当院では肺高血圧症外来を木曜日に開設しております。お気軽にご相談ください。



（玉 直人）